

地域公共交通に関するアンケート結果

1. 概要

香芝市では、コミュニティバス及びデマンド交通の利用者にアンケート調査を実施した。アンケート調査の概要を以下に示す。

表 コミュニティバス利用者アンケート 調査概要

項目	内容
名 称	コミュニティバス利用者アンケート
対 象	コミュニティバス利用者
配布方法	・車内または総合福祉センターのバス停でアンケート調査票を配布 ・車内に据え置きで配布
回収方法	郵送で回収
実施時期	■コミュニティバスでの配布 平日：9月25日（水） 休日：10月6日（日） ■木曜シャトルでの配布 9月26日（木） ■回収期限 10月10日（木）
配布数	291（コミュニティバス：277、木曜シャトル：14）
回収数	199（コミュニティバス：185、木曜シャトル：14）
回収率	68.4%

表 デマンド交通利用者アンケート 調査概要

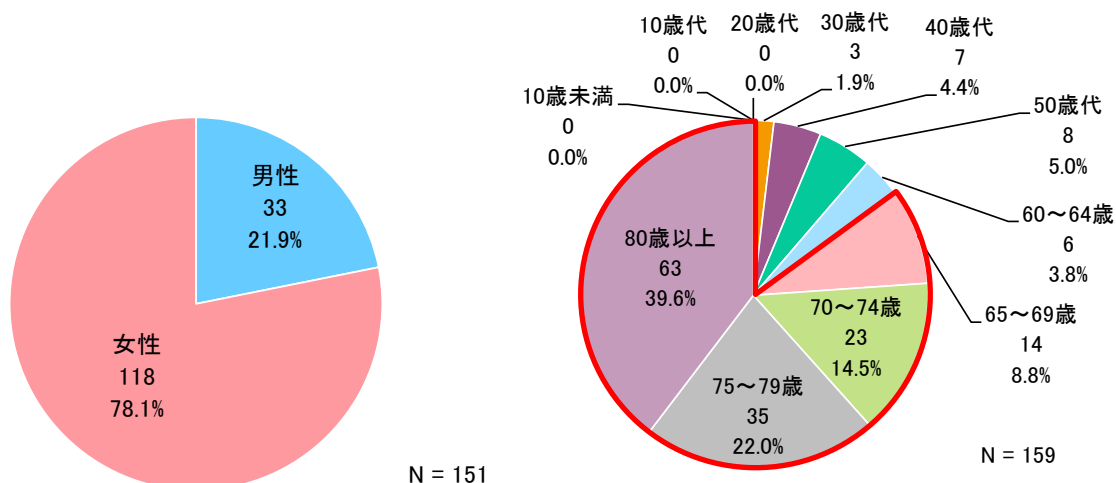
項目	内容
名 称	デマンド交通利用者アンケート
対 象	デマンド交通利用者のうち週に2回（1往復）以上利用するヘビーユーザーの方
配布方法	郵送で配布
回収方法	郵送で回収
実施時期	9月25日（水）～10月10日（木）
配布数	149
回収数	115
回収率	77.2%

2. コミュニティバス利用者アンケートの調査結果

2.1 コミュニティバス（木曜シャトルを除く）

(1) 性別と年齢

コミュニティバスの利用者の性別は女性が約 78%となっている。年齢は 80 歳以上が約 40%で最も多く、65 歳以上の高齢者の利用割合は約 85%となっている。

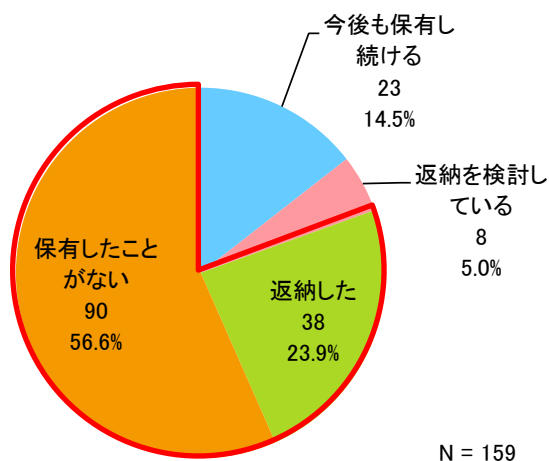


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 性別・年齢の構成

(2) 自動車運転免許の保有状況

コミュニティバスの利用者は、自動車運転免許を保有したことがない方が約 57%を占めている。さらに返納した方を含めると、現在自動車運転免許を保有していない方は約 81%である。

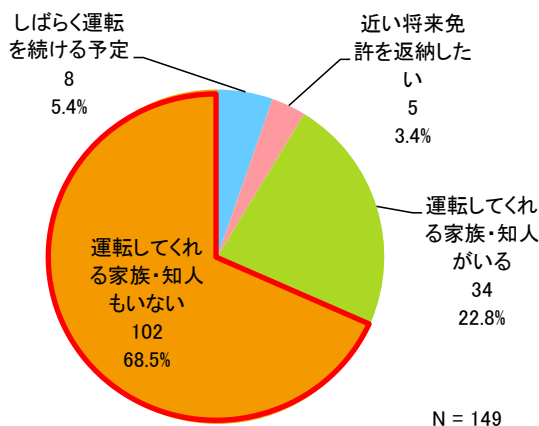


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 自動車運転免許の保有状況

(3) 今後の自動車の利用について

コミュニティバスの利用者は、自動車を運転して送り迎え等をしてくれる家族・友人がいない方が約69%と半数以上を占めている。

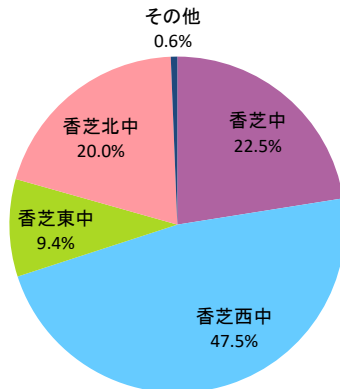


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 今後の自動車の利用について

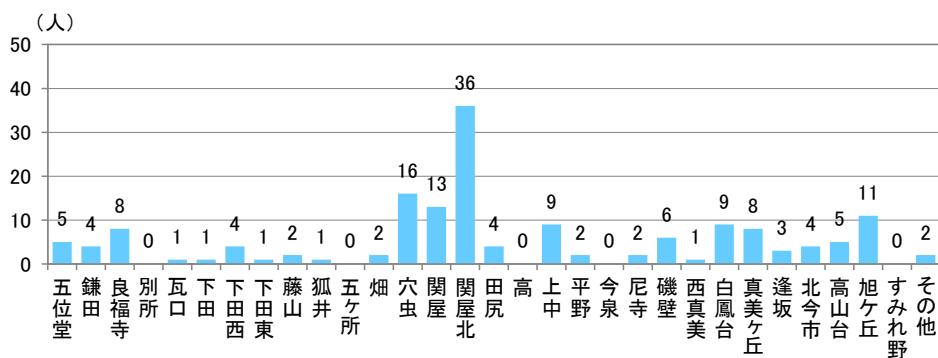
(4) 居住地

コミュニティバスの利用者の居住地は、香芝西中学校区（関屋北、穴虫等）が約48%で最も利用者が多い。



資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 中学校区別 利用者の居住地



参考図 町丁目別 利用者の居住地

(5) 最寄りバス停の距離

自宅からコミュニティバスまたは路線バスの最寄りバス停までの徒歩時間は、5分が約33%で最も多く、次に3分が約17%となっている。

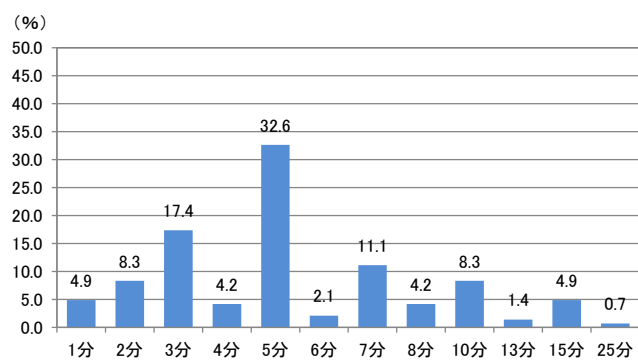


図 最寄りバス停からの徒歩時間

(6) 出発地と目的地

鎌田ルート、白鳳台・旭ヶ丘ルート、真美ヶ丘・穴虫ルートから乗車した方が降車した停留所は、市役所・総合福祉センターが最も多かった。田尻ルートでは、市役所・総合福祉センター以外の田尻ルートの停留所を利用する人が多く、青葉台 D 公園前から万代前、関屋北から万代前、青葉台 D 公園前から近鉄二上駅北の利用者が多かった。

白鳳台・旭ヶ丘ルートから田尻ルートや、鎌田ルートから真美ヶ丘・穴虫ルート等、乗継をする移動も行われている。

表 出発地と目的地のバス路線の組み合わせ

単位:人		降車したバス停						
		市役所・総合福祉センター	田尻	鎌田	白鳳台・旭ヶ丘	真美ヶ丘・穴虫	奈良交通	総計
乗車したバス停	市役所・総合福祉センター		7	1				8
	田尻	33	36	7		1		77
	鎌田	13	1	9		3		26
	白鳳台・旭ヶ丘	24	6		6			36
	真美ヶ丘・穴虫	10		2	1	4	1	18
	奈良交通	1			1			2
	総計	81	50	19	8	8	1	167

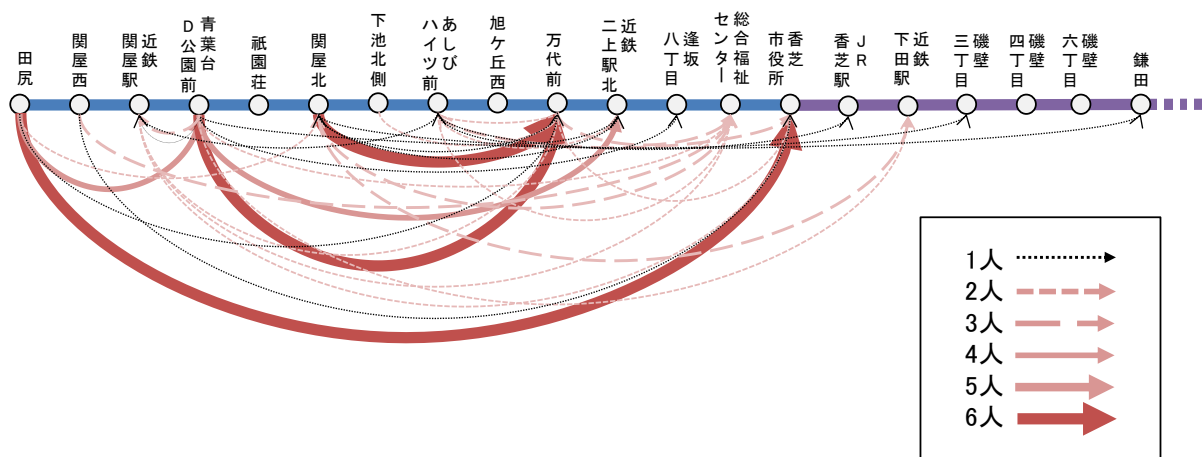
市役所・総合福祉センターの利用が多い

万代前・二上駅の利用が多い

乗継利用もみられる

資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

■田尻ルート利用者:計77人

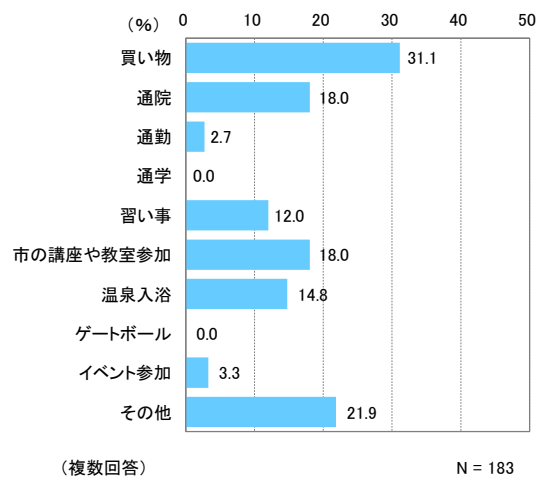


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 田尻ルート利用者の乗降停留所

(7) 外出目的

コミュニティバスを利用した外出の目的は、買い物が最も多く約31%を占めている。次いで通院と市の講座や教室参加が多くなっている。その他の回答では、図書館の利用や公的書類の取得などが複数あった。

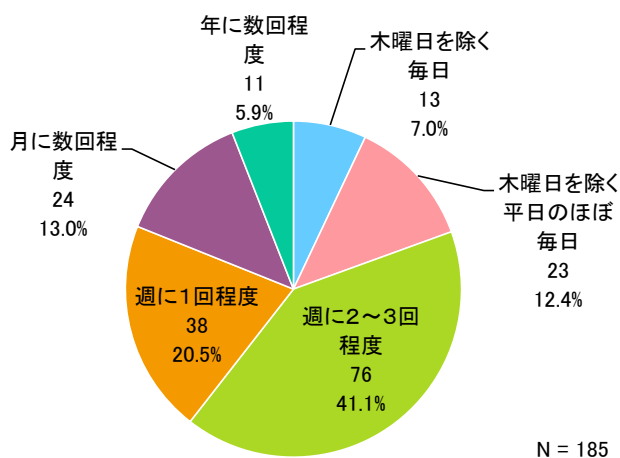


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 外出目的

(8) コミュニティバスの利用頻度

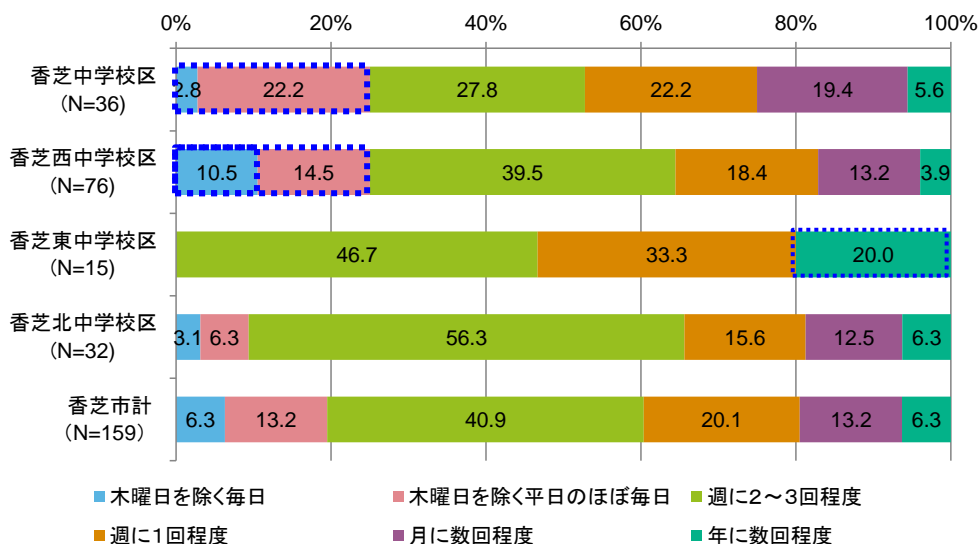
コミュニティバスの利用頻度は、週に2～3回が約41%で最も多かった。次いで週に1回が約21%だった。



資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 コミュニティバスの利用頻度

中学校区別にみると、香芝中学校区と香芝西中学校区では「木曜日を除く毎日」や「木曜日を除く平日のほぼ毎日」の割合が他の地域より高く、特に香芝西中学校区では「木曜日を除く毎日」の割合が高くなっている。一方で、香芝東中学校区の利用頻度は少なく、「年に数回程度」の割合が約20%となった。

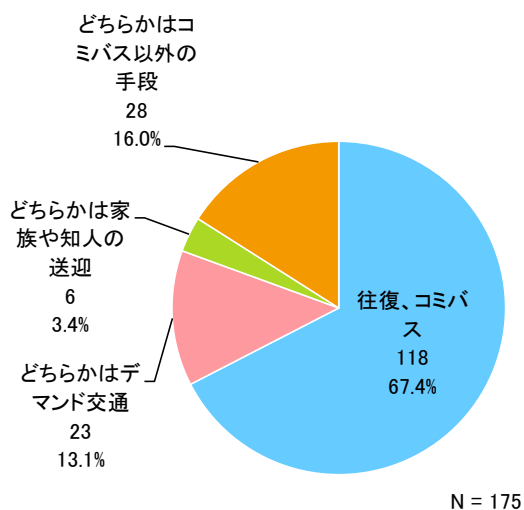


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 中学校区別 コミュニティバスの利用頻度

(9) 往復の利用手段

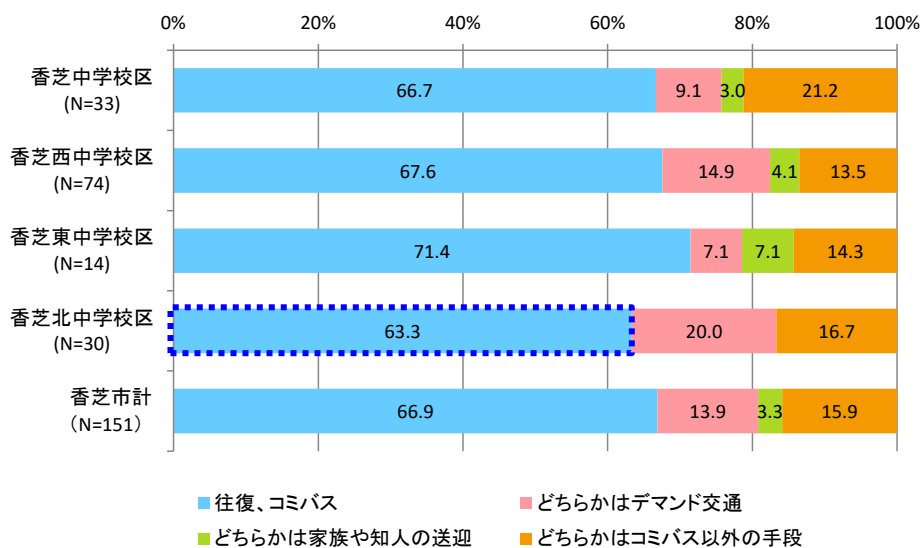
コミュニティバスを利用した外出の際の往復の利用手段について、往復ともにコミュニティバスを利用する方は約67%だった。片道のどちらかでデマンド交通を利用する方は約13%、それ以外の手段を使う方は約16%だった。それ以外の手段は、タクシーや徒歩などが複数挙げられた。



資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 往復の利用手段

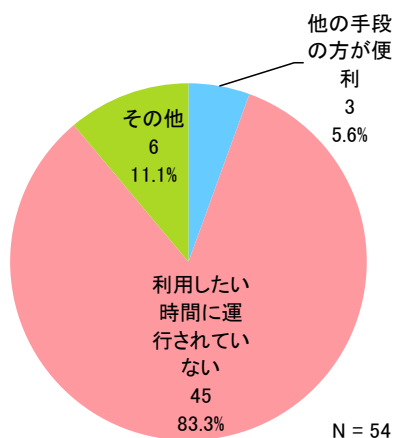
中学校区別に往復の利用手段をみると、香芝北中学校区は、他の地域に比べて往復コミュニティバスを利用する割合が低くなっている。



資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 往復の利用手段

また、行きもしくは帰りにコミュニティバスを利用しない理由としては、約83%の方が「利用したい時間に運行されていない」と答えた。

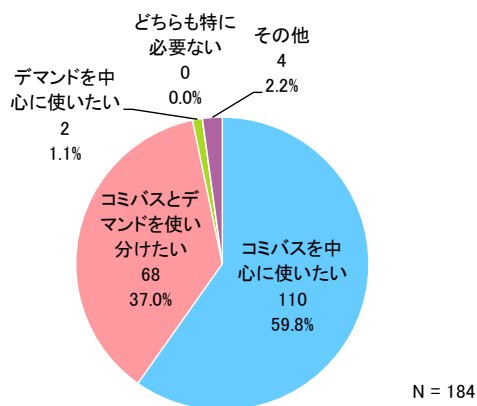


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 行きもしくは帰りにコミュニティバスを利用しない理由

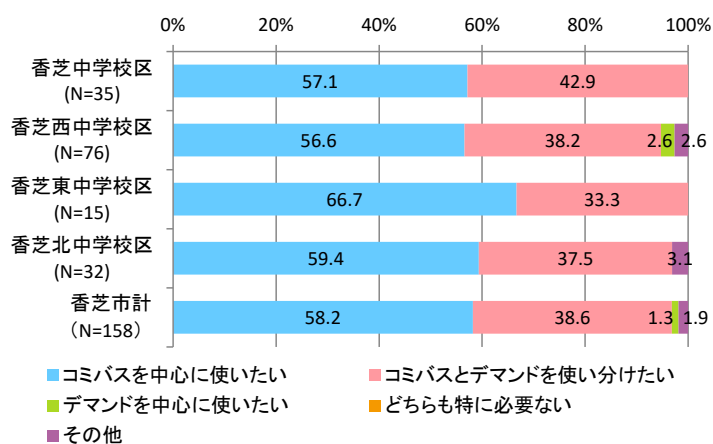
(10) コミュニティバスの需要

あなたの生活にとって、地域公共交通をどのように利用したいかという問いに対して、現状でコミュニティバスを利用している方の約60%がコミュニティバスを中心に使いたいと回答している。



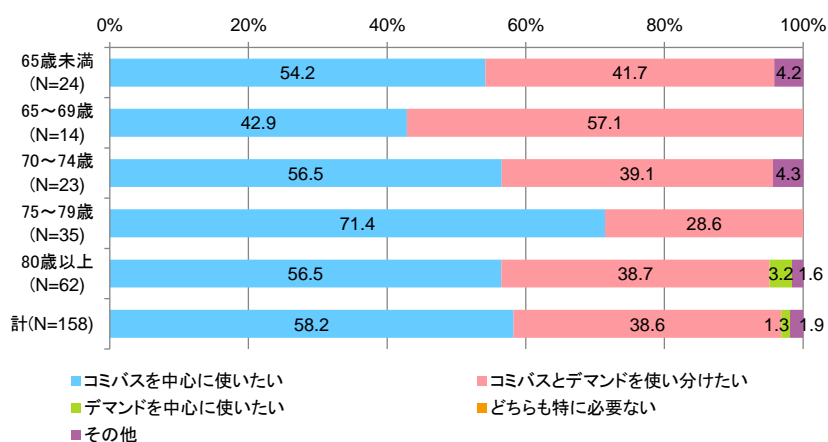
資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 コミュニティバスの需要



資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

参考図 中学校区別 コミュニティバスの需要

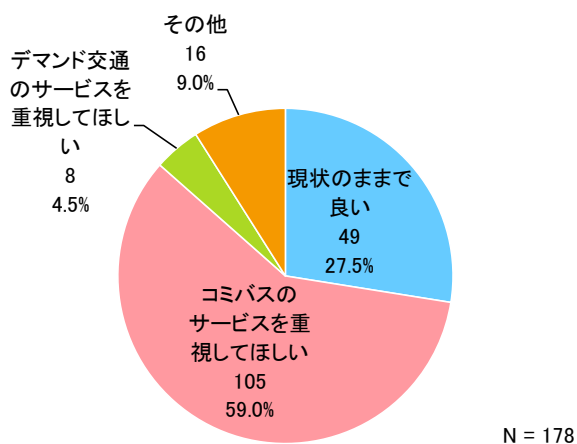


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

参考図 年齢別 コミュニティバスの需要

(11) 香芝市の地域公共交通の施策について

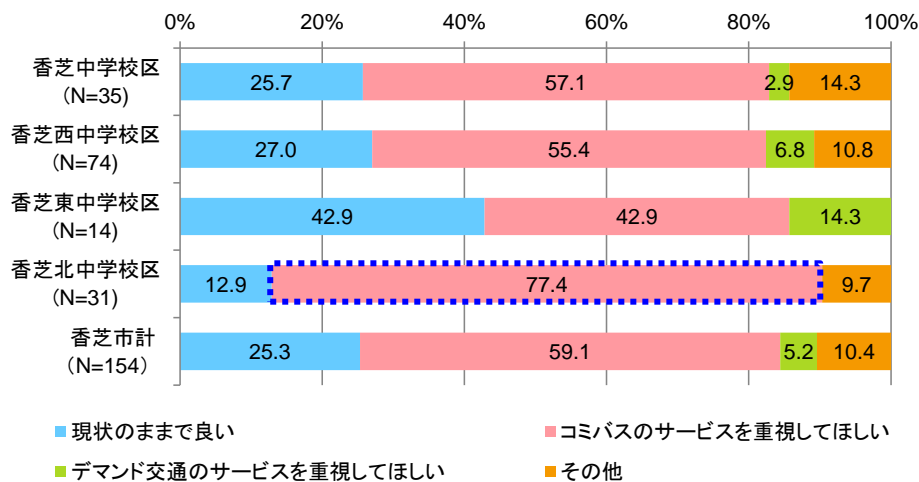
今後、香芝市の地域公共交通の施策では、コミュニティバスのサービスを重視してほしいという声が約 59%で最も多かった。



資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 香芝市の地域公共交通の施策について

中学校区別にみると、香芝北中学校区では他の地域に比べて、コミュニティバスのサービスを重視してほしいという回答の割合が高くなっている。

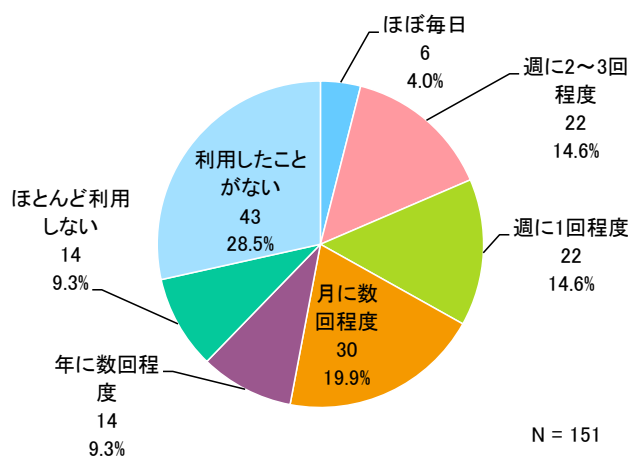


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 中学校区別 香芝市の地域公共交通の施策について

(12) デマンド交通の利用頻度

コミュニティバスの利用者は、デマンド交通を利用したことがない方が約29%で最も多い。利用したことがある人の中では、月に数回が約20%、週に1回程度と週に2～3回程度がそれぞれ約15%となっている。

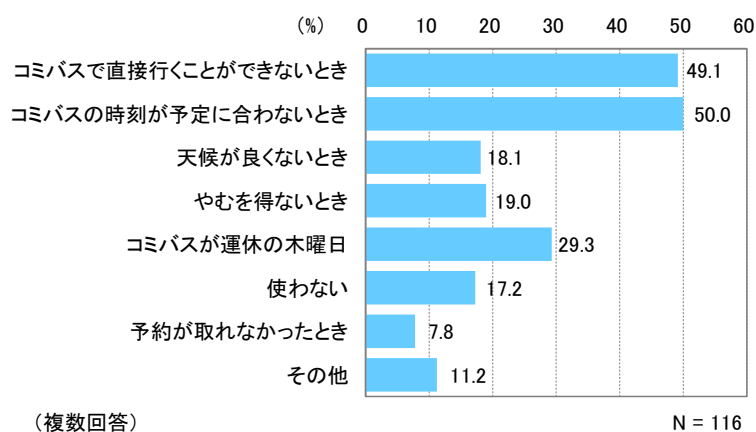


資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通の利用頻度

(13) デマンド交通を利用する理由

デマンド交通を利用する理由としては、コミュニティバスの時刻が予定に合わないときやコミュニティバスで直接行くことができない場所に行くときが多くなっている。



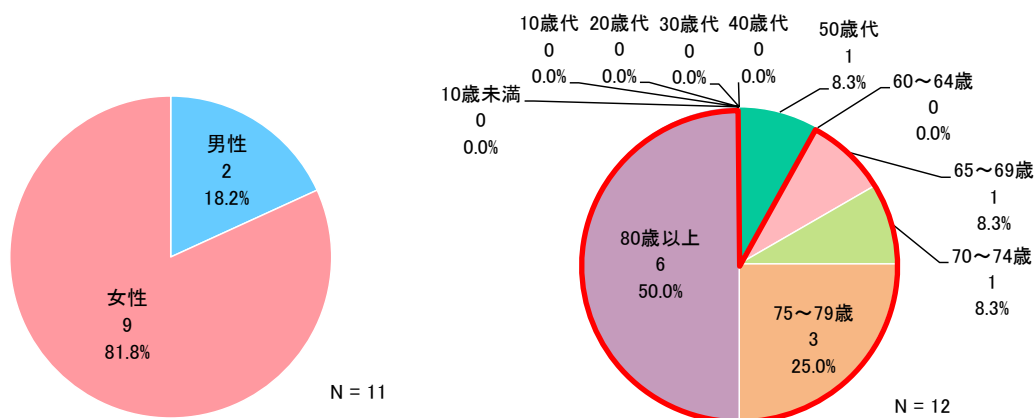
資料：コミュニティバス利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通を利用する理由

2.2 木曜シャトル（参考）

(1) 性別と年齢

木曜シャトルのアンケート回答者の性別は女性が約 82%で、年齢は 80 歳以上が 50%で最も多く、65 歳以上の高齢者の利用割合は約 92%となっている。

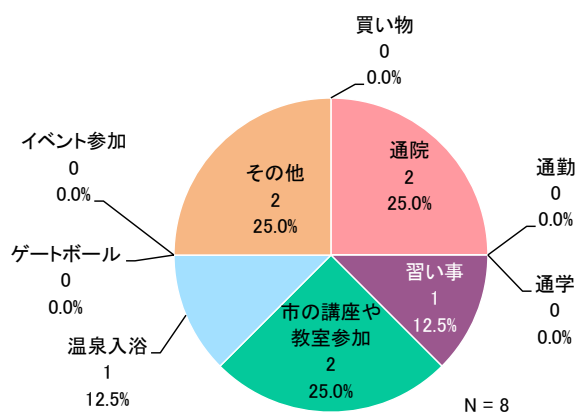


資料：木曜シャトル利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 木曜シャトルのアンケート回答者 性別・年齢構成

(2) 木曜シャトルの利用目的

木曜シャトルの利用目的は、「通院」と「市の講座や教室参加」が多く、コミュニティバスの利用目的で多かった「買い物」の利用者はいなかった。

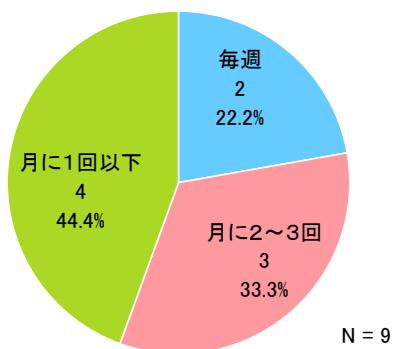


資料：木曜シャトル利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 木曜シャトルの利用目的

(3) 木曜シャトルの利用頻度

木曜シャトルの利用頻度は、月に1回以下の方が最も多く、毎週必ず利用する方が最も少なかった。

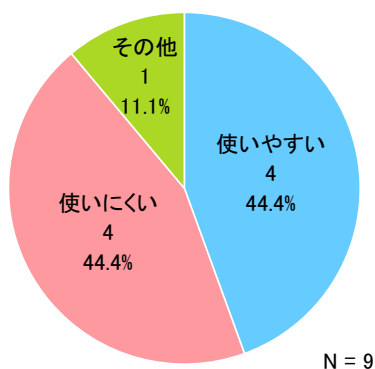


資料：木曜シャトル利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 木曜シャトルの利用頻度

(4) 木曜シャトルの利用しやすさ

木曜シャトルの利用しやすさについては、意見が二分している。

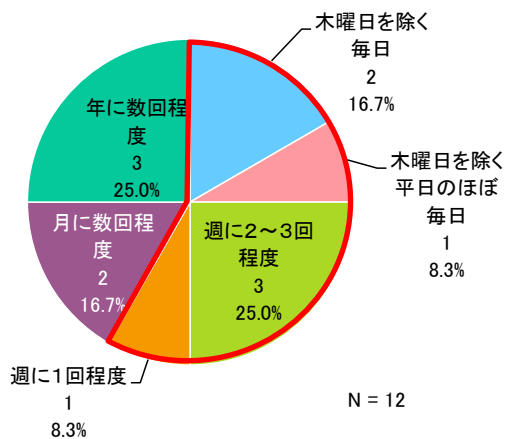


資料：木曜シャトル利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 木曜シャトルの利用しやすさ

(5) コミュニティバスの利用頻度

木曜シャトルの利用者は、木曜日以外に運行しているコミュニティバスも週に1回以上利用している方が約58%であった。

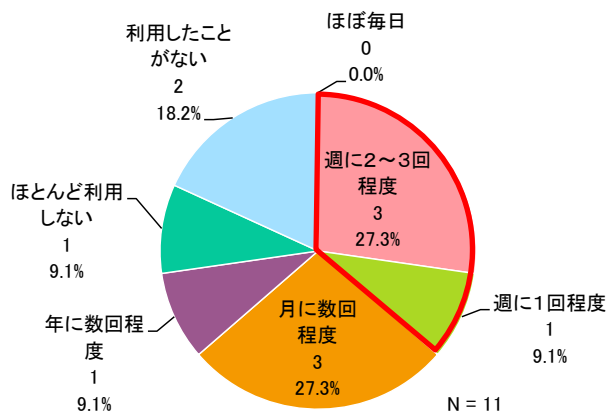


資料：木曜シャトル利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 コミュニティバスの利用頻度

(6) デマンド交通の利用頻度

木曜シャトルの利用者は、デマンド交通を週に1回以上利用している方が約36%で、デマンド交通よりもコミュニティバスの利用頻度が高い。



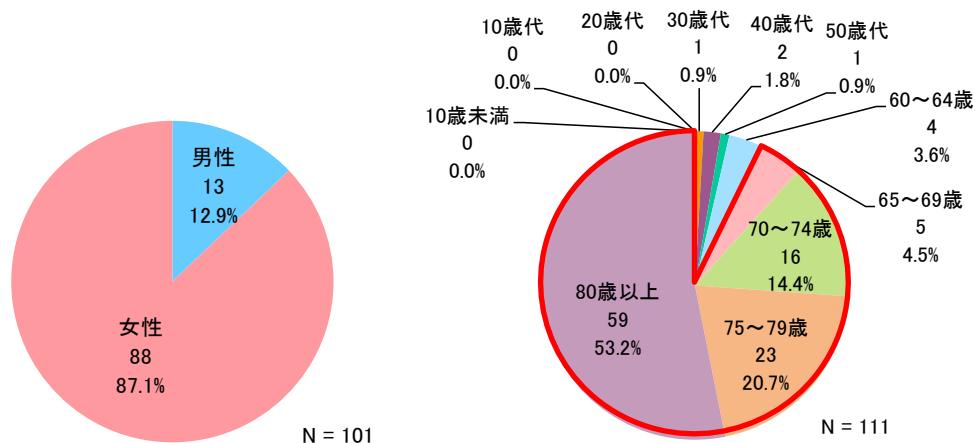
資料：木曜シャトル利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通の利用頻度

3. デマンド交通利用者アンケートの調査結果

(1) 性別と年齢

デマンド交通の利用者の性別は約 87%が女性となっている。年齢は 80 歳以上が約 53%で最も多く、65 歳以上の高齢者の利用割合が約 93%となっている。

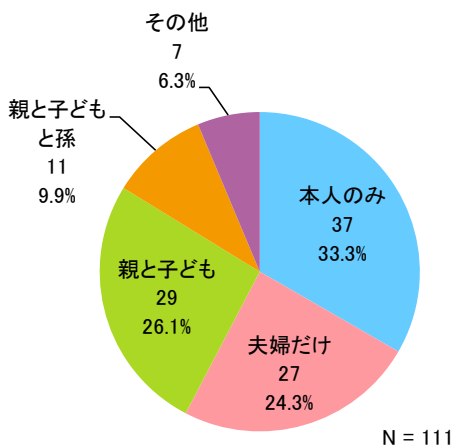


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 性別・年齢の構成

(2) 家族構成

家族構成は、本人のみ（一人暮らし）が約 33%で多いが、親と子ども（2世代）や夫婦だけ（1世代）の割合もおおよそ 25%で多くなっている。

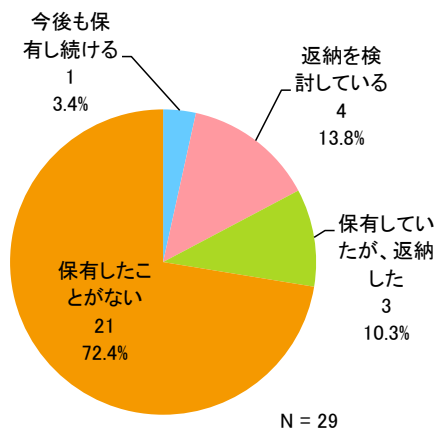


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 家族構成

(3) 自動車運転免許の保有状況

デマンド交通の利用者は、自動車運転免許を保有したことがない方が約72%で最も多い。返納済みの方を合わせると約83%の方が自動車運転免許を保有していない。

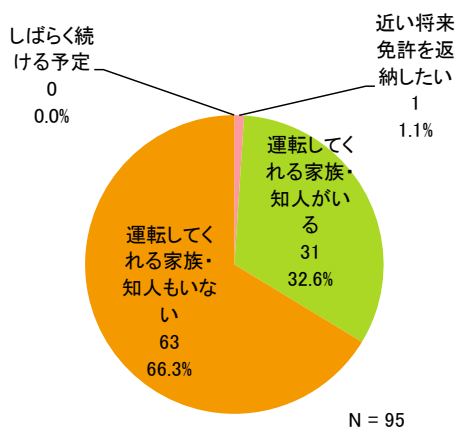


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 自動車運転免許の保有状況

(4) 今後の自動車の利用について

今後の自動車の利用について、自動車を運転することができない方で、運転してくれる家族・知人もいないという方が約66%を占めている。

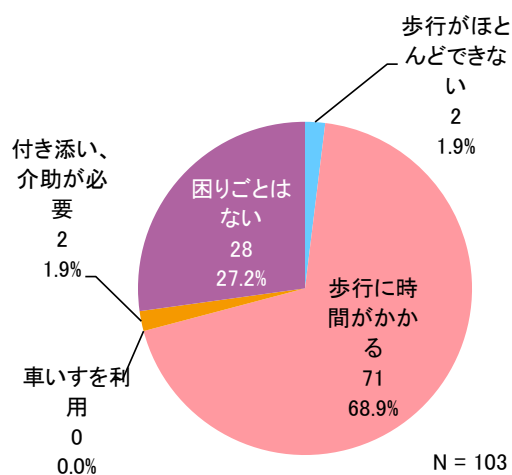


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 今後の自動車の利用について

(5) 外出に関する身体的な困りごとの有無

デマンド交通の利用者は、外出に関する身体的な困りごとについて、歩行に時間がかかる方が約69%で最も多い。

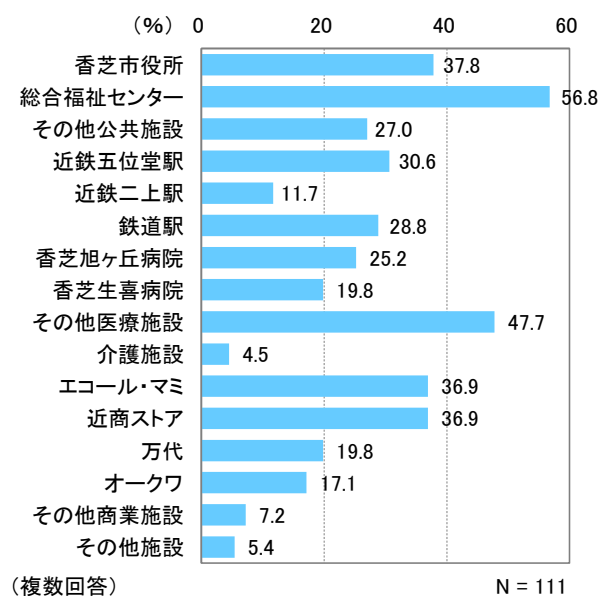


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 外出に関する身体的な困りごとの有無

(6) 外出先

デマンド交通を利用する際の外出先は、総合福祉センターが約 57%で最も多い。次いでその他医療施設（クリニック・診療所など）が約 48%と多くなっている。

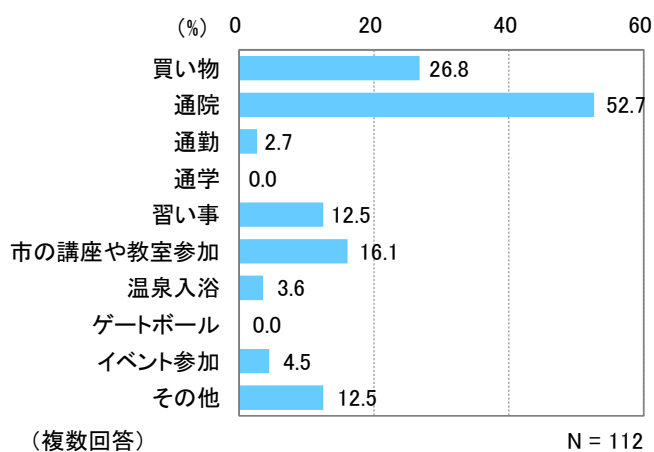


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通を利用する際の外出先

(7) 外出目的

デマンド交通を利用する外出目的では、通院が約 53%で最も多く、次いで買い物が多くなっている。

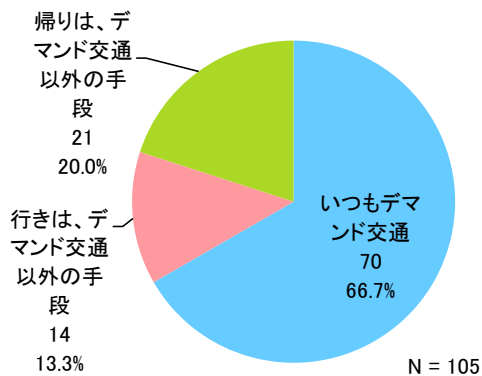


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通を利用する外出目的

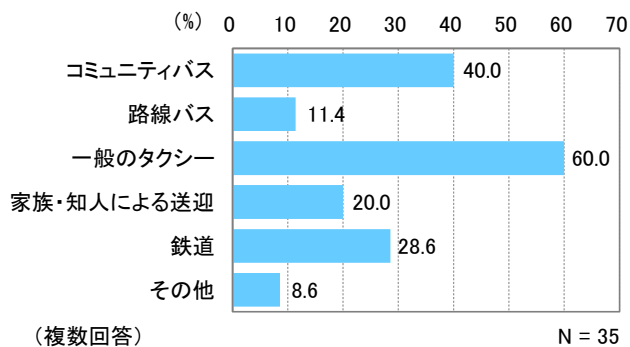
(8) 往復の利用手段

デマンド交通を利用する際の往復の利用手段について、行き帰りともにいつもデマンド交通を利用する方が約67%で最も多い。デマンド交通以外の片道の利用手段は、一般のタクシーが約60%となっている。



資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 往復の利用手段

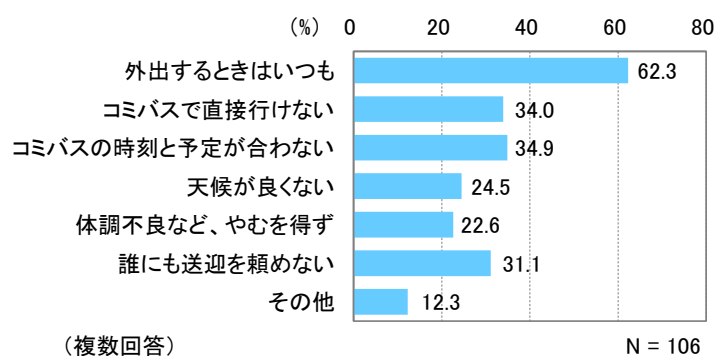


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通以外の片道の利用手段

(9) デマンド交通を利用する理由

デマンド交通を利用する理由は、天候や体調、その他の手段の利用しやすさに拘らず、「外出するときはずっと」が約62%であった。

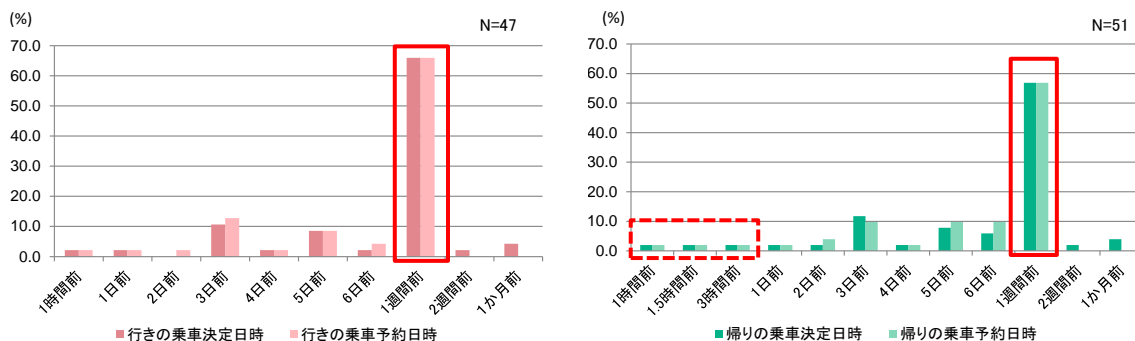


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通を利用する理由

(10) デマンド交通の利用・予約の決定

デマンド交通を週に2回以上利用しているヘビーユーザーは、予約可能になる1週間前には乗車することを決めて、予約している方が最も多い。行きと帰りの予約について比べると、帰りの方が1～3時間前など直前に予約していることが多い。

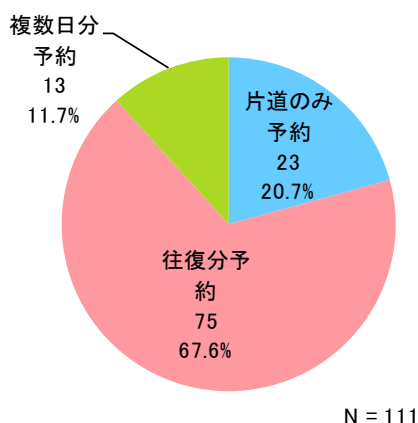


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通の乗車を決定する日時と予約をする日時（左：行き、右：帰り）

(11) デマンド交通の予約の仕方

デマンド交通を予約する際には、1回の電話で往復分予約する方が約68%で最も多い。

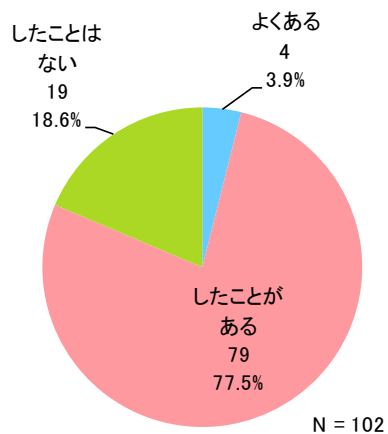


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通の予約の仕方

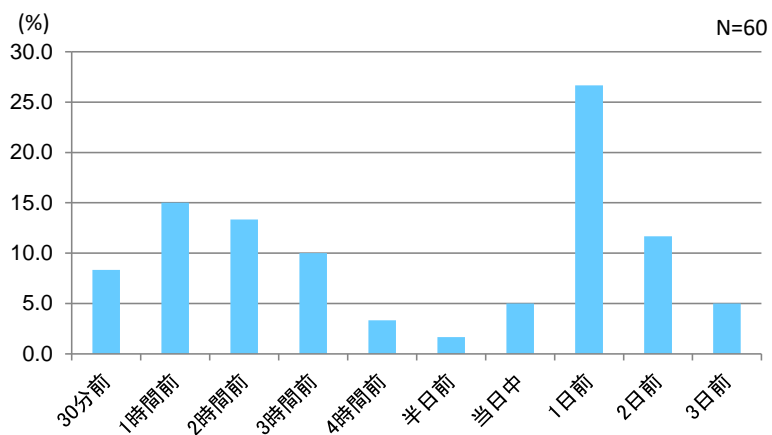
(12) デマンド交通のキャンセル

デマンド交通の利用者の約 82%が、予約をキャンセルしたことがあると回答している。キャンセルした時間は、予約した時間の 1 日前が最も多く、次いで 1 時間前が多かった。



資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年 9～10 月）

図 デマンド交通のキャンセル

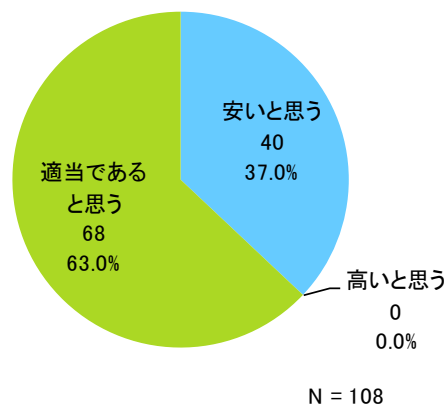


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年 9～10 月）

図 デマンド交通をキャンセルする日時

(13) デマンド交通の利用料金

現在のデマンド交通の利用料金については、適当な料金であると思う方が約63%で最も多い。高いと思うと答えた方は0人で、安いと思うと答えた方は約37%いる。1回あたりの適当な利用料金は、現在の200円と答える方が多いが、300～500円と答える方もいる。また、利用料金に対する意見としてはタクシーよりも安価であると答える方が約83%で最も多かった。



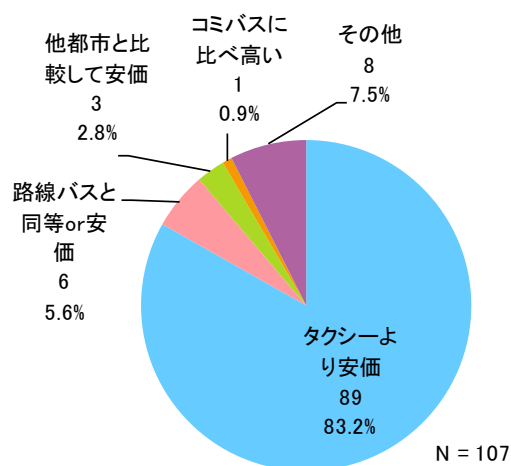
資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 現在のデマンド交通の利用料金について

表 デマンド交通の適当な料金

適当な料金	回答数
100円	1
200円	12
300円	9
500円	2
300～500円	1
月に何回も利用すると高いと感じる。	1
身体障がい者は割引があれば良い。	1
計	27

資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

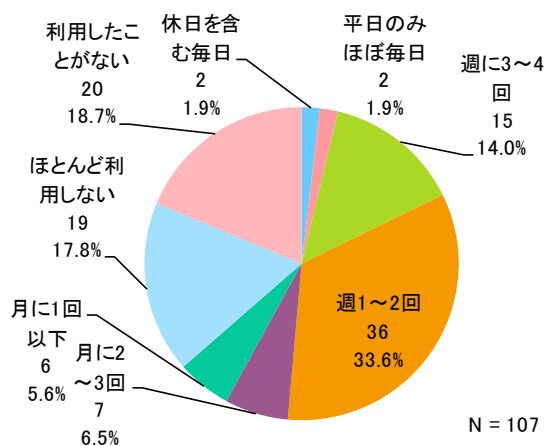


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 現在のデマンド交通の利用料金に対する意見

(14) コミュニティバスの利用頻度

デマンド交通利用者のコミュニティバスの利用頻度は、週に1～2回が約34%で最も多い。一方で、次いで割合が高いのは、「利用したことがない」（約18%）、「ほとんど利用しない」（約18%）となっている。

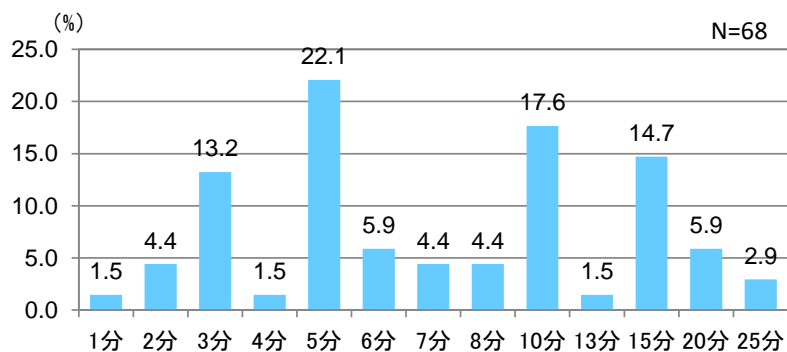


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通利用者のコミュニティバスの利用頻度

(15) 最寄りバス停までの徒歩時間

デマンド交通利用者の自宅から最寄りバス停までの徒歩時間は、5分が約22%で最も多く、次いで10分が約18%となっている。

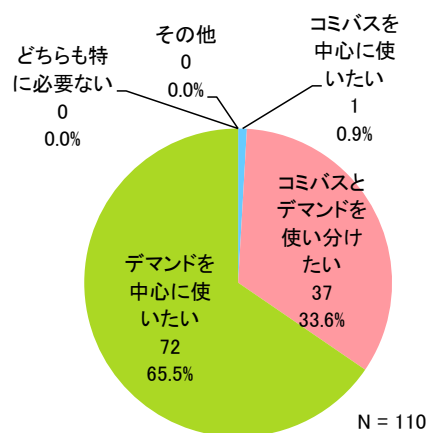


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 最寄りバス停までの徒歩時間

(16) デマンド交通の需要

あなたの生活にとって、地域公共交通をどのように利用したいかという問いに対して、現状でデマンド交通を利用している方の約66%がデマンド交通を中心に使いたいと回答している。

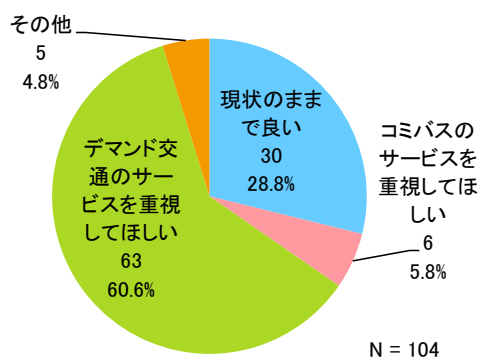


資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 デマンド交通の需要

(17) 香芝市の地域公共交通の施策について

今後、香芝市の地域公共交通の施策では、デマンド交通のサービスを重視してほしいという声が約61%で最も多かった。



資料：デマンド交通利用者アンケート（令和元年9～10月）

図 香芝市の地域公共交通の施策について

4. 地域公共交通の利用実態と利用者ニーズのまとめ

4.1 コミュニティバスの利用実態

- 香芝中学校区と香芝西中学校区では「木曜日を除く毎日」や「木曜日を除く平日のほぼ毎日」の割合が他の地域より高く、利用頻度が高い。
- 香芝北中学校区は、他の地域に比べて往復コミュニティバスを利用する割合が低い。また、片道でコミュニティバスを利用しない理由として、「利用したい時間に運行されていない」が多い。

4.2 デマンド交通の利用実態

- デマンド交通を現状で頻繁に利用できている人は、1週間前に往復分を1度に予約をしている。さらに、キャンセルは数時間前～1日前の直前に行っている。
- デマンド交通の利用料金について、タクシーよりも安価であるという認識はあるものの、現状の料金設定が適切と考えている人が多い。

4.3 地域公共交通の利用者ニーズ

- あなたの生活にとって、地域公共交通をどのように利用したいかという問いに対して、現在利用している交通手段を中心に使いたいという方が、コミュニティバスで約60%、デマンド交通で約66%となった。このことから、現状も生活に適した交通手段を選ばれており、コミュニティバス、デマンド交通どちらも必要とされている。
- また、香芝市の地域公共交通の施策では、現在利用している交通手段を重視してほしいという声がどちらも約60%挙がっている。

表 地域公共交通の需要

	コミュニティバスを 中心に使いたい	用途や状況に応じて 使い分けたい	デマンド交通を 中心に使いたい
コミュニティバス利用者	59.8%	37.0%	1.1%
デマンド交通利用者	0.9%	33.6%	65.5%

表 香芝市の地域公共交通の施策について

	コミュニティバスの サービスを重視して ほしい	デマンド交通の サービスを重視して ほしい	現状のままでよい
コミュニティバス利用者	59.0%	4.5%	27.5%
デマンド交通利用者	5.8%	60.6%	28.8%